

# メディカルガイド発刊に寄せて

一般社団法人 苫小牧歯科医師会 会長 牛丸 智恵

苫小牧歯科医師会は、昭和23年に創立され、今年で69年目を迎えます。

苫小牧市、白老町、厚真町、むかわ町、安平町の約110名の歯科医師により構成されており、地域の皆様の口腔の保健、医療を担うべく日々新しい歯科医学の習得と研鑽に努めています。また、苫小牧歯科医師会が窓口となって行政と協力し、乳幼児歯科健診、学校歯科健診、平成28年からは歯周病検診、後期高齢者歯科健康診査等の健診、加えて赤ちゃん教室、母親教室、幼稚園、小学校におけるむし歯予防教室、市民の歯の健康教室等のほか、休日診療、訪問歯科診療、介護認定審査等の活動を通じて、歯科医師としての役割と責任を果たしています。

そして、平成27年から苫小牧市教育委員会主導のもと、市内小学校全てでフッ化物洗口が開始され、むし歯予防を実現しています。当会会員は、分担した小学校に出向き、児童のフッ化物洗口の見守り等を行い、現在も協力しています。

さらに、平成29年4月3日に、苫小牧市医師会館3階に創設された「とまこまい医療介護連携センター」の活動が円滑に推進されるべく苫小牧市医師会、苫小牧薬剤師会、苫小牧地域訪問看護ステーション等と連携をはかり医療提供者の一員としての役割を果たそうと努力しています。

最近、糖尿病、認知症等全身の健康と、口腔の健康の関係を示すデータから、口腔の健康と全身の健康は密接に関連しており、歯科医療によってさまざまな疾病のリスクを抑制できることが明らかになってきました。苫小牧歯科医師会はこれからも引き続き超高齢社会における歯科医師としての役割と責任を果たすべく努力して参りますので地域の皆様のご理解とご支援をお願い致します。

